

救護活動の基本的な考え方

香南市では時間軸（災害フェーズ）で医療救護体制を集中型から展開型に変えていくこととしている。超急性期には救護病院である野市中央病院に医療機関、薬局等に勤務する医療従事者をはじめ、地域の住民や資材を総動員して医療救護所を設置し、救護病院および地域と連動した医療救護活動の体制を構築する。市内での対応が困難な重症患者等については、県保健医療調整支部に広域的な受入の要請（災害拠点病院等への受入要請と航空搬送拠点臨時医療施設（SCU）等による広域医療搬送）を行うとともに受援班は、災害派遣医療チーム（DMAT：Disaster Medical Assistance Team）をはじめとする医療救護チームの支援を的確に受入れる。超急性期以降は、被害の少なかった地域から段階的にエリアを決め、積極的に医療救護体制を展開することとする。

超急性期の負傷者等の医療救護がひと段落した後には、避難所や自宅、福祉避難所等において、発災前から医療を受けていた慢性疾患患者等や、エコノミークラス症候群、生活不活発発病など避難生活に起因して発生する疾病の予防と治療を行うための保健医療体制を確保する。受援班は、県内外からの保健医療活動チームの支援を的確に受け入れ、避難所等における保健医療体制を確立する。

香南市の人口と人的被害の想定（L1・L2想定）

■ レベル1とレベル2の地震・津波の比較

比較項目	レベル1（L1）	レベル2（L2）
発生頻度	比較的高い（100年に一度程度）	極めて低い（1000年に一度かそれ以下）
地震・津波規模	過去に発生してきたM8クラス	あらゆる可能性を考慮したM9クラス（最大クラス）
想定被害	大きな被害をもたらす	甚大な被害をもたらす
公表時期	内閣府：平成15年 高知県：平成16年	内閣府：平成24年 高知県：平成24年

■ 香南市の被害想定

項目	被災ケース		備考
	L1	L2	
人口（人）		33,830	国勢調査（平成22年）
死者数（人）	140	540	L1：【高知県版】南海トラフ地震による被害想定 の概要及び資料（平成25年5月）
負傷者数（人）	610	2,000	
避難所避難者数（人）	1日後	2,200	L2：応急期機能配置計画作成の前提となる被害想定 について（通知）（平成28年3月高知県危機管理部南 海トラフ地震対策課）
	1週間後	2,600	
	1ヶ月後	1,100	

香南市の人口と人的被害の想定 (L1・L2 想定)

野市エリア

人口：19,371人

世帯数：8,162

	L1	L2
負傷者総数 (人)	354	1,160
重・中等症者数 (人)	118	386
軽症者数 (人)	236	774

香我美エリア

人口：6,146人

世帯数：2,787

	L1	L2
負傷者総数 (人)	110	360
重・中等症者数 (人)	37	120
軽症者数 (人)	73	240

吉川エリア

人口：1,656人

世帯数：911

	L1	L2
負傷者総数 (人)	31	100
重・中等症者数 (人)	10	33
軽症者数 (人)	21	67

赤岡エリア

人口：2,686人

世帯数：1,402

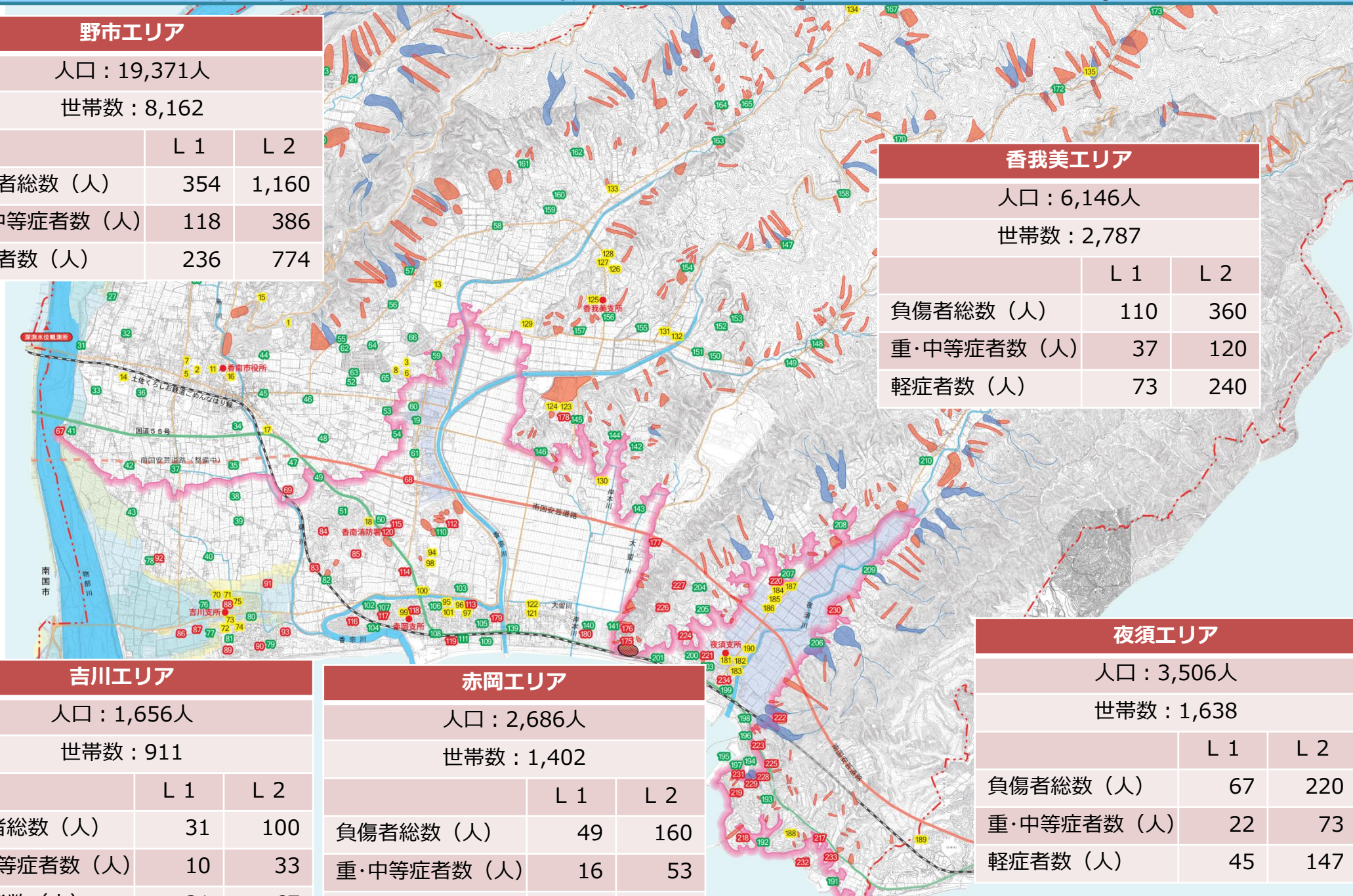
	L1	L2
負傷者総数 (人)	49	160
重・中等症者数 (人)	16	53
軽症者数 (人)	33	107

夜須エリア

人口：3,506人

世帯数：1,638

	L1	L2
負傷者総数 (人)	67	220
重・中等症者数 (人)	22	73
軽症者数 (人)	45	147



香南市の人口と人的被害の想定（L2想定）

凡例

物部川の浸水想定区域

- 浸水の深さが0.5m未満の区域
- 浸水の深さが0.5～1.0m未満の区域
- 浸水の深さが1.0～2.0m未満の区域
- 浸水の深さが2.0～5.0m未満の区域
- 浸水の深さが5.0m以上の区域

南海地震時の津波浸水予測

- 津波によって浸水が予想される範囲
- 過去の風水害による浸水区域

その他の危険箇所

- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 土石流危険渓流・区域

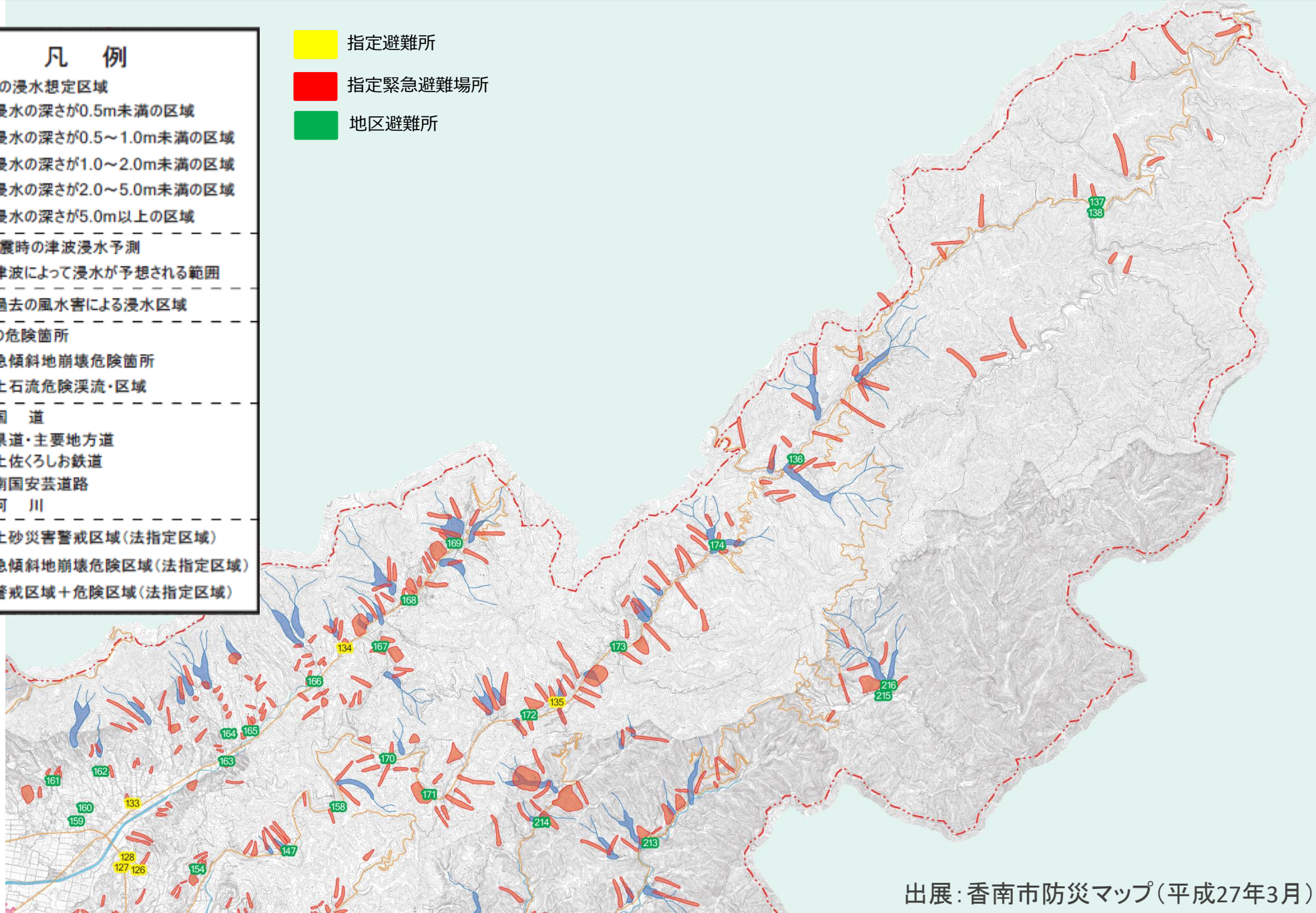
道路

- 国道
- 県道・主要地方道
- 土佐くろしお鉄道
- 南国安芸道路
- 河川

土砂災害警戒区域（法指定区域）

- 急傾斜地崩壊危険区域（法指定区域）
- 警戒区域＋危険区域（法指定区域）

- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 地区避難所



出展：香南市防災マップ（平成27年3月）

香南市の医療機関等位置図（医療機関）

赤岡エリア



香我美エリア






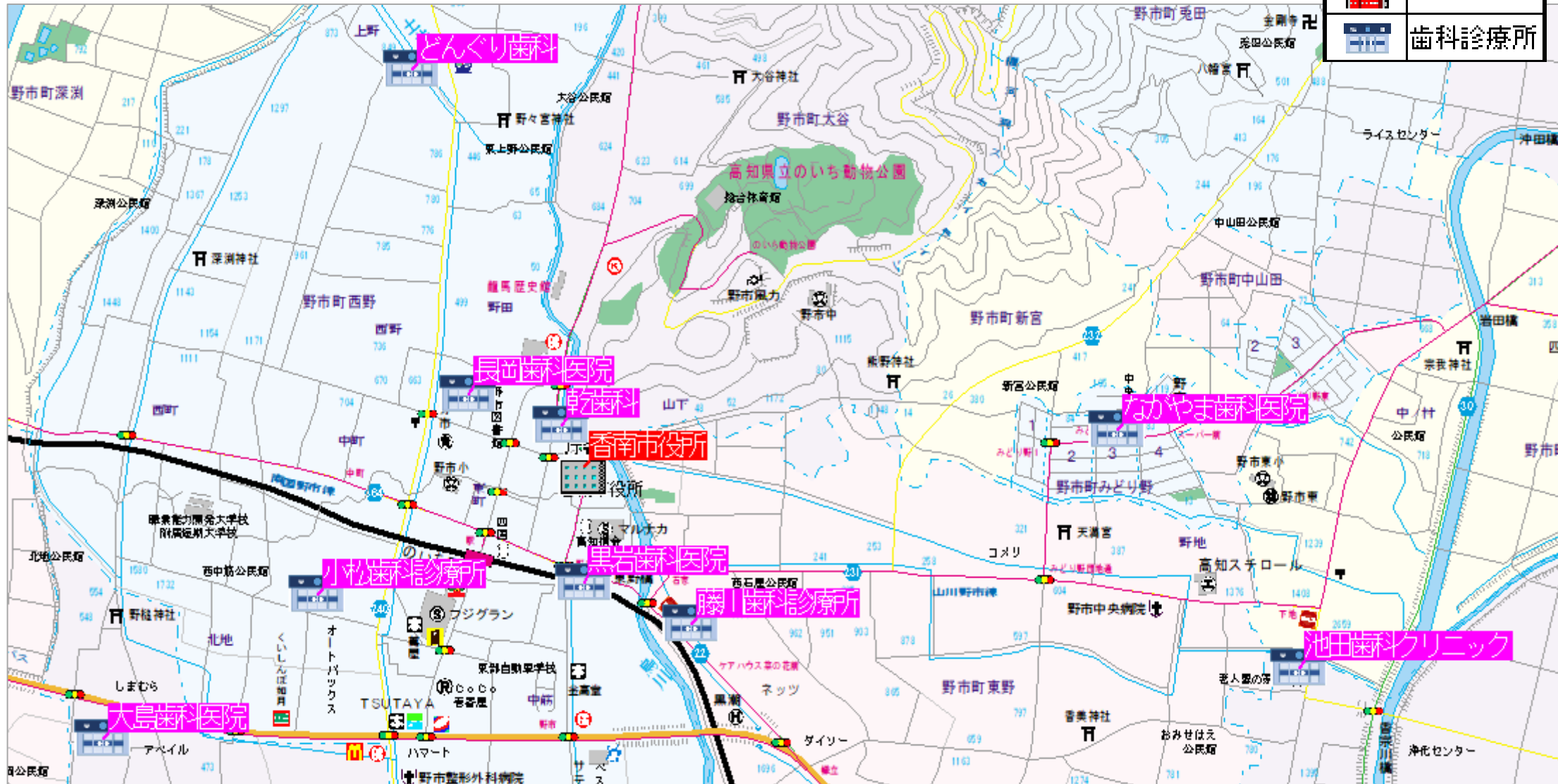
夜須エリア

凡例	
	市町村庁舎
	消防本部
	災害拠点病院
	病院・診療所

香南市の医療機関等位置図（歯科診療所）




野市エリア

凡例	
	市町村庁舎
	消防本部
	歯科診療所



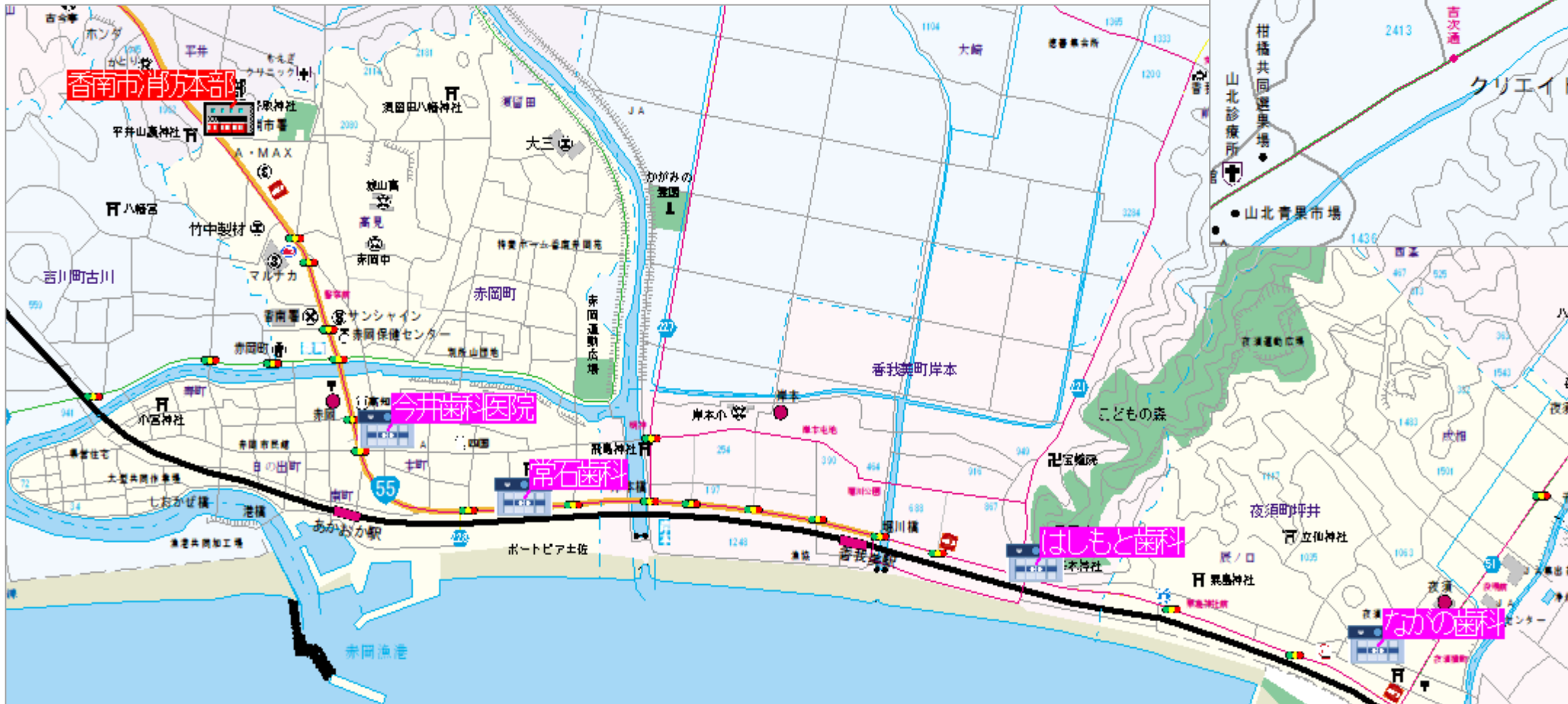
香南市の医療機関等位置図（歯科診療所）

凡例

	市町村庁舎
	消防本部
	歯科診療所

香我美エリア

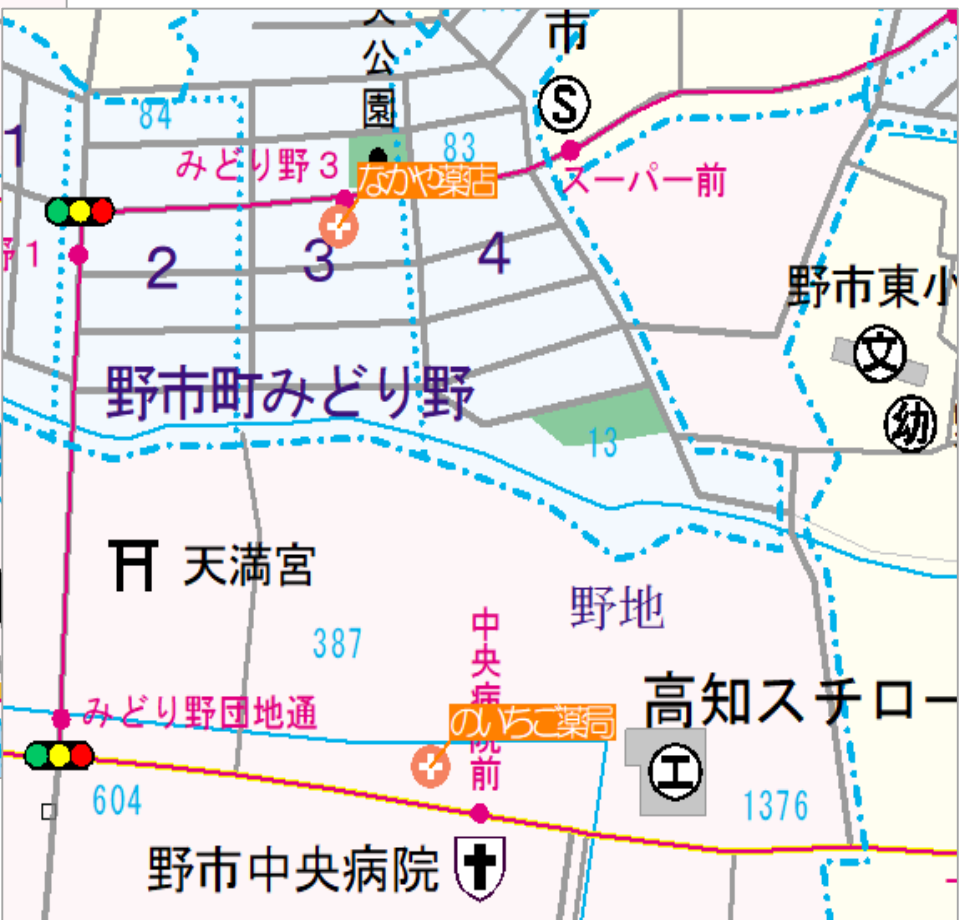
赤岡・夜須エリア



香南市の医療機関等位置図（薬局・店舗）

野市エリア

	市町村庁舎
	消防本部
	薬局



香南市の医療機関等位置図 (薬局・店舗)

赤岡エリア



凡例	
	市町村庁舎
	消防本部
	薬局

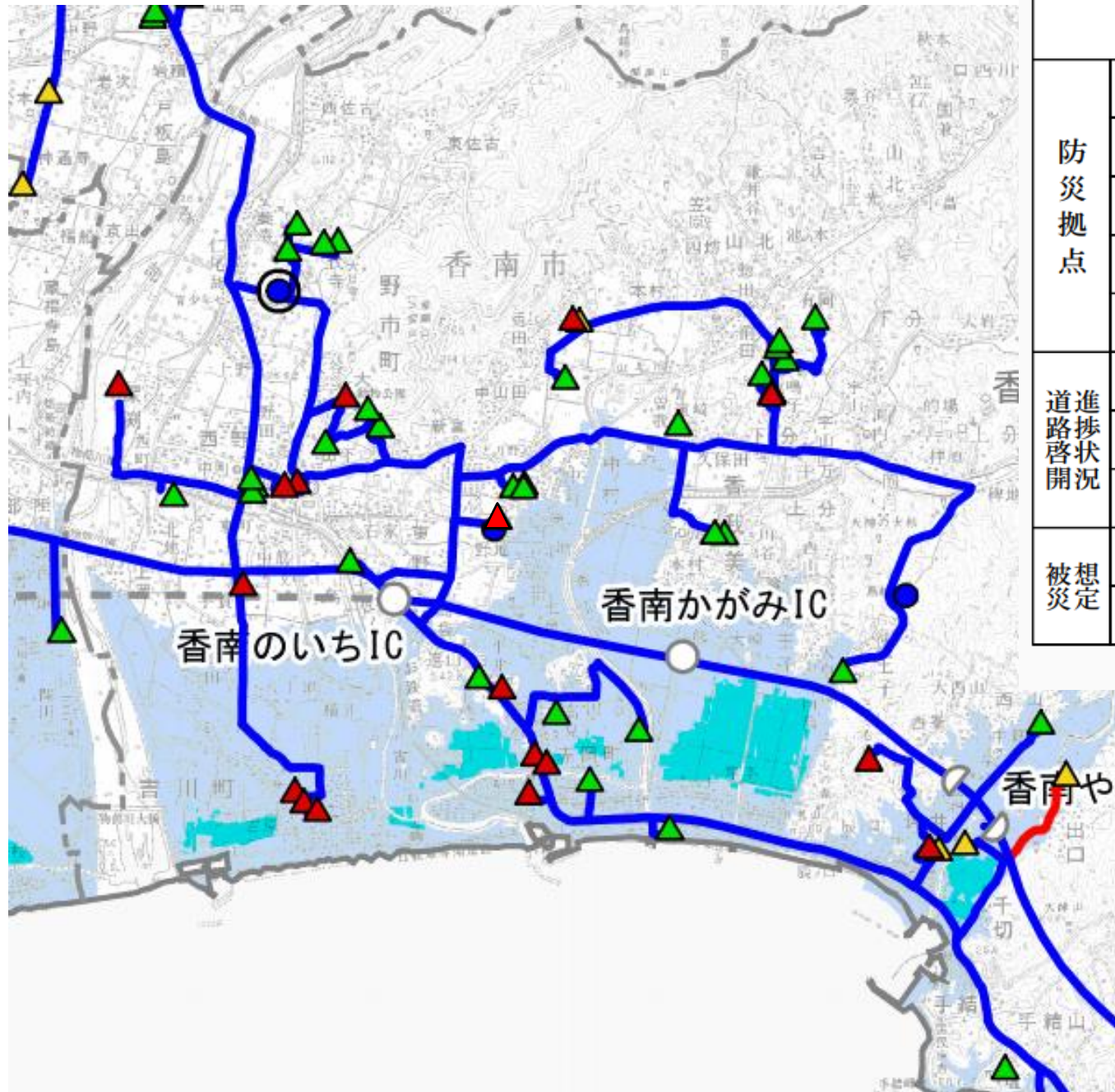
香我美エリア



夜須エリア



高知県道路啓開計画（L2想定）



凡 例		
防災拠点		広域の防災拠点 (総合防災拠点)
		広域の防災拠点 (総合防災拠点以外)
		地域の防災拠点 (優先順位A)
		地域の防災拠点 (優先順位B)
道路進捗啓開状況		3日以内
		3日を超える
		重機不足のため、作業日数のみ算出
被災想定		津波浸水予想範囲 (L2)
		長期浸水予想範囲 (L2)

「※長期浸水区域の解消日数は未定」

香南市災害対策本部等の体制（災害警戒・災害対策本部）

災害対策本部体制（2号、3号配備体制）

- ★ 各対策部のなかで優先的に設置する班
 - ◎ 責任者（部長、班長）
 - 副責任者（副部長、副班長）
- 各対策班の構成員は、班長と同課の職員を充てる。

香南市災害対策本部体制

- ◎ 市長
- 副市長
- 消防長
- 教育長

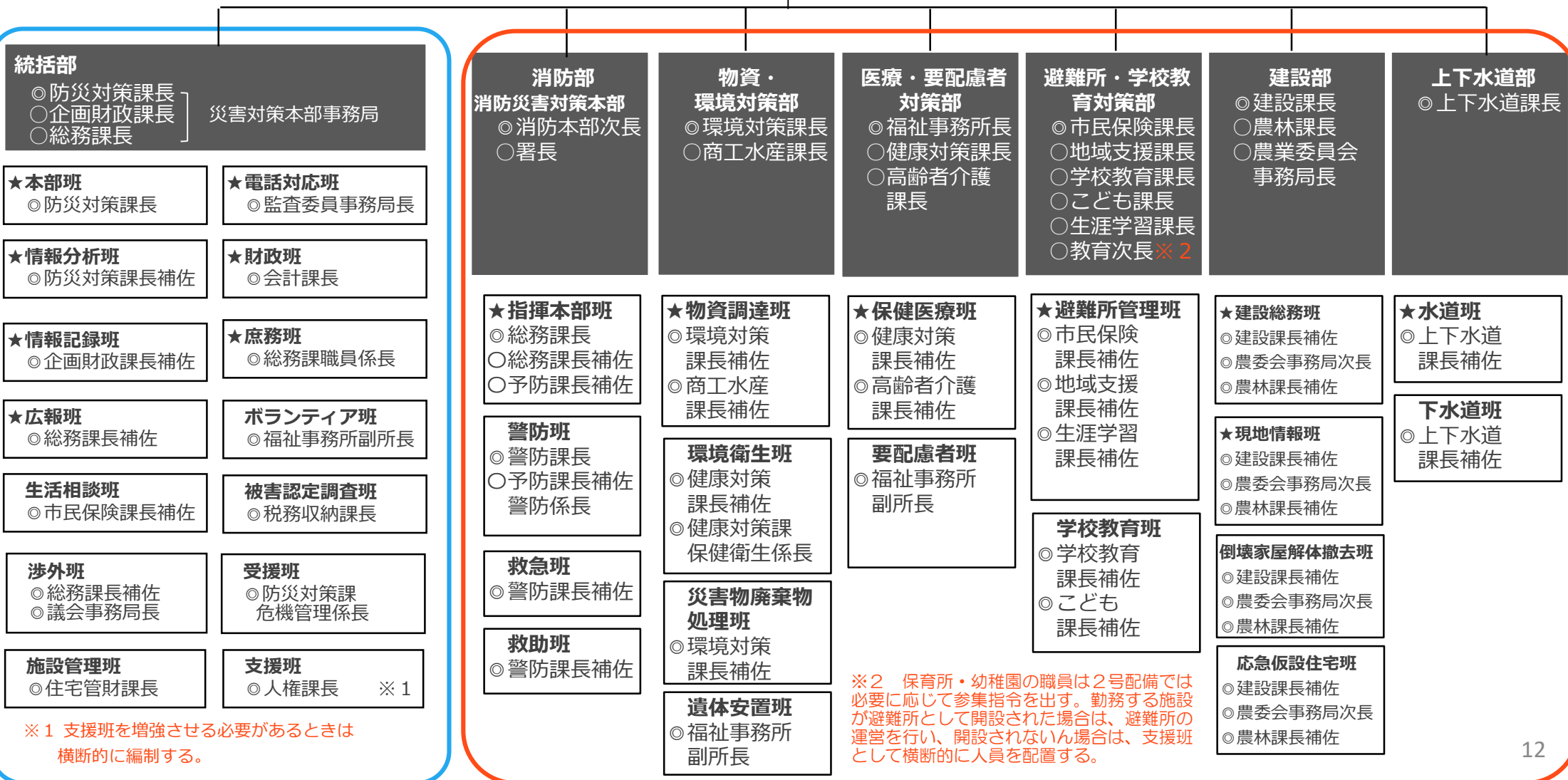
※災害の規模により職員の動員配備は変動する。

【第2号配備体制】

本部長が必要と認めた職員及び消防長が必要と認めた消防職・団員（風水害、火災、大規模災害時）または第2初動要員以内の全職員及び消防部（消防団含む）の全職・団員（地震時）

【第3号配備体制】

全職員（全消防団員）



医療救護活動の役割分担と活動フロー

役割分担

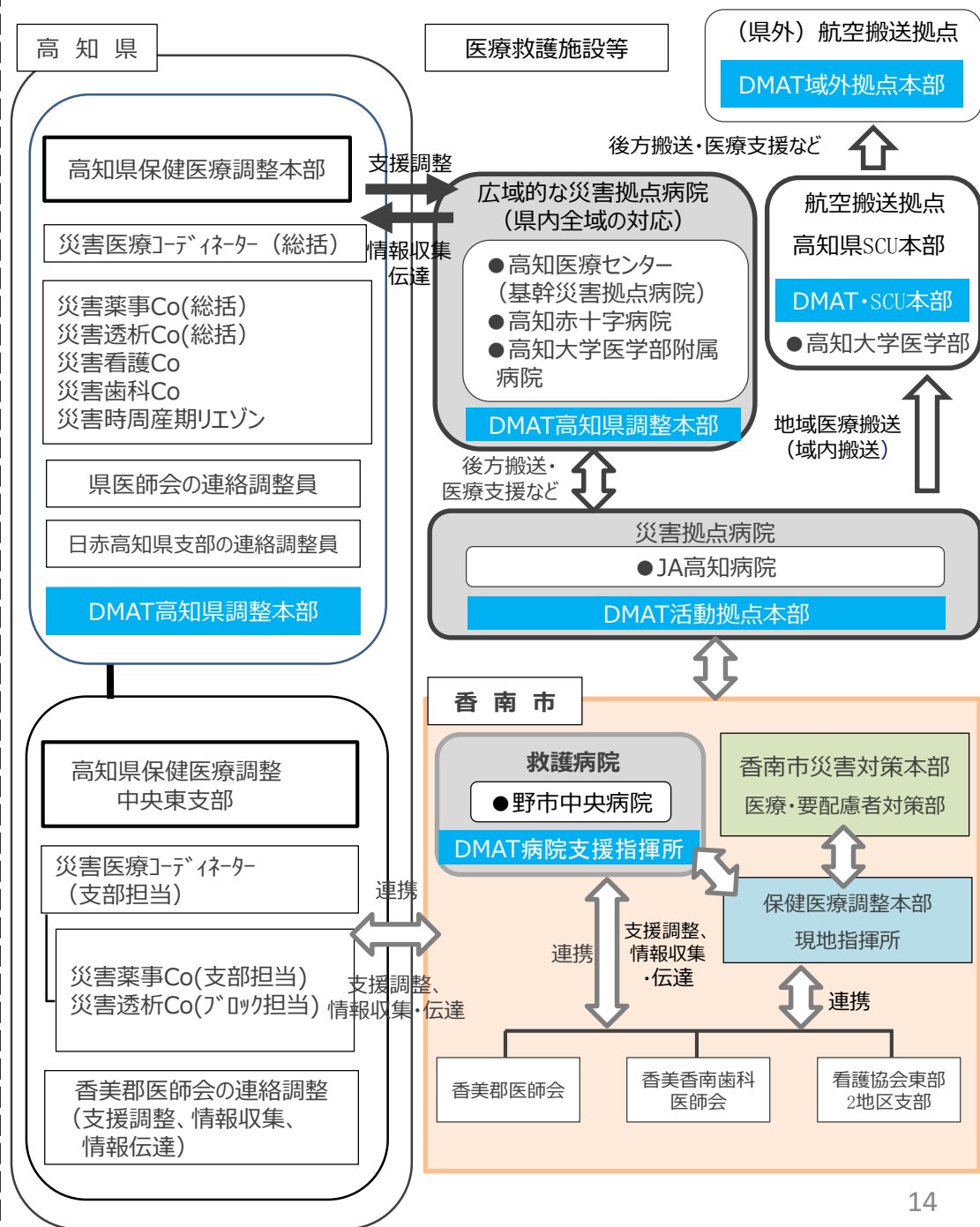
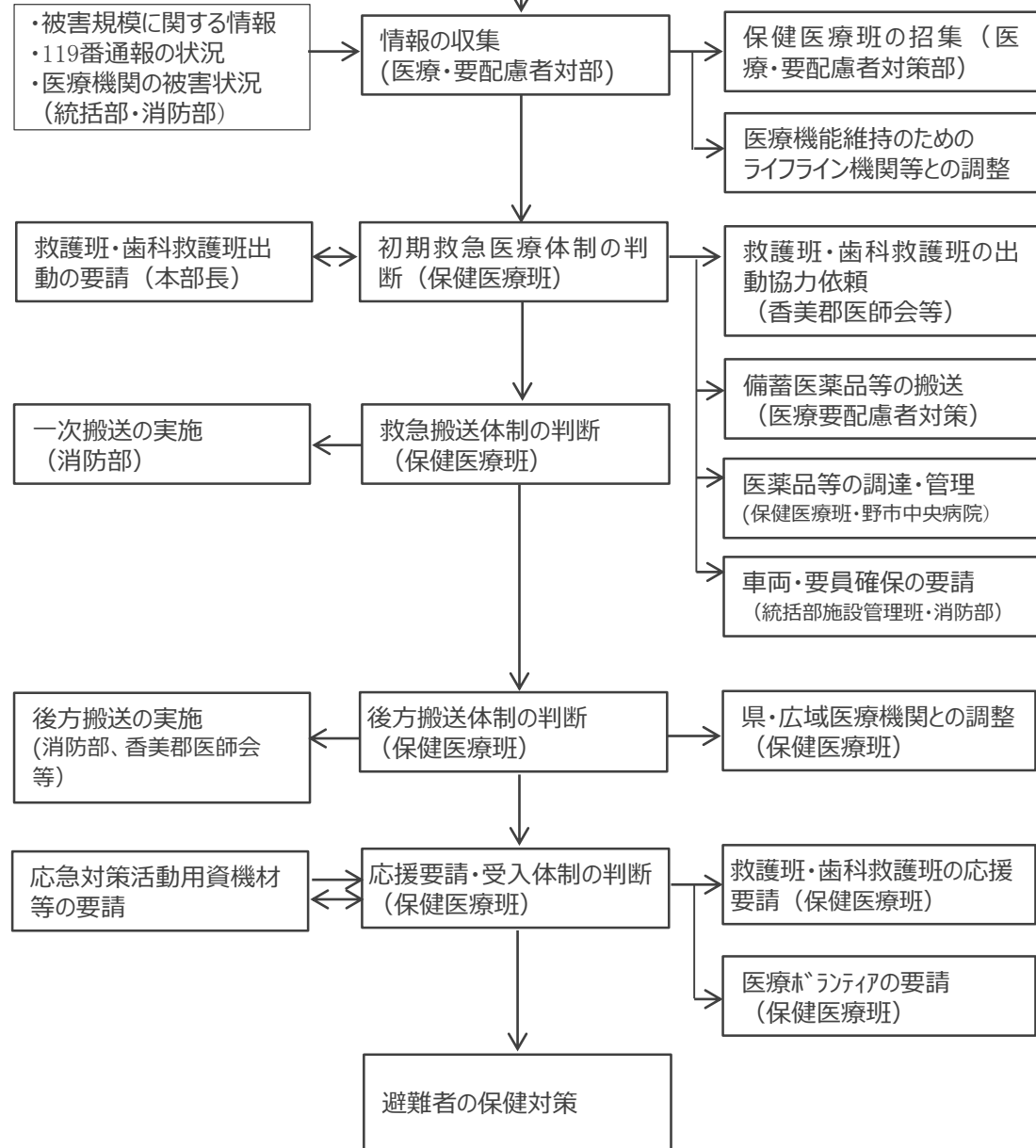
実務担当		実施内容
市災害対策本部	本部長	県および医療コーディネーターに対する救護班および歯科救護班出動要請
	統括部	(1) 医療活動に係るライフライン関係機関との調整に関すること (2) 応急活動従事者および患者の搬送のための交通手段の確保、要請に関すること
	医療・要配慮者対策部	(1) 初期救急医療体制の確保に関すること (2) 広域医療に関する県医療支部との連携に関すること (3) 医療救護チーム等の応援要請および受入に関すること (4) 医薬品および医療資機材の備蓄と搬送に関すること (5) 医薬品等の要請に関する庶務
	市災害医療コーディネーター	(1) 初期救急医療体制に関すること (2) 広域医療体制に関すること (3) 救護班・歯科救護班・医療ボランティアの応援要請および受入に関すること
	消防部	(1) 救助・救急活動の実施に関すること (2) 負傷者等の搬送に関すること
香美郡医師会 香美香南歯科医師会 薬剤師会香長土支部 看護協会東部2地区支部	発災直後からの医療救護活動	
救護病院	救護病院としての体制確保	
市民、事業所	(1) 家庭内、事業所内における応急処置用医薬品の常備 (2) 家具等の転倒防止策の実施 (3) 救護所・歯科救護所開設予定地の把握	
医療ボランティア	医療活動に関する協力	

活動フロー

No.	時間				日			週		月	確認
	1h	3h	6h	12h	1d	2d	3d	1w	2w	1m	
1.	被害規模早期把握のための活動										<input type="checkbox"/>
2.	第1次情報等の収集・連絡										<input type="checkbox"/>
3.	医療救護所の設置										<input type="checkbox"/>
4.	医療救護チーム等の派遣要請と受入										<input type="checkbox"/>
5.	事故等の現場での傷病者の応急手当と医療救護所への搬送										<input type="checkbox"/>
6.	医療救護活動の全体調整										<input type="checkbox"/>
7.	市外への重症者等の受入要請と搬送										<input type="checkbox"/>
8.	医療・保健体制										<input type="checkbox"/>
9.	救護病院の体制										<input type="checkbox"/>
10.	救護病院による活動の開始										<input type="checkbox"/>
11.	医薬品と医療資器材の調達										<input type="checkbox"/>
12.	業務継続に必要な活動資源の確保										<input type="checkbox"/>
13.	要配慮者の緊急的な入院や施設での保護										<input type="checkbox"/>
14.	遺体の処理										<input type="checkbox"/>
15.	一般被害情報等の収集・連絡										<input type="checkbox"/>
16.	個別疾患対策										<input type="checkbox"/>
17.	医療ボランティアの受入										<input type="checkbox"/>
18.	感染症対策活動										<input type="checkbox"/>
19.	予防教育および広報活動の推進										<input type="checkbox"/>
20.	防疫活動										<input type="checkbox"/>
21.	感染症等の患者等に対する措置										<input type="checkbox"/>
22.	健康相談等										<input type="checkbox"/>
23.	食品衛生の確保										<input type="checkbox"/>
24.	メンタルヘルス										<input type="checkbox"/>
25.	外部調達による活動資源										<input type="checkbox"/>

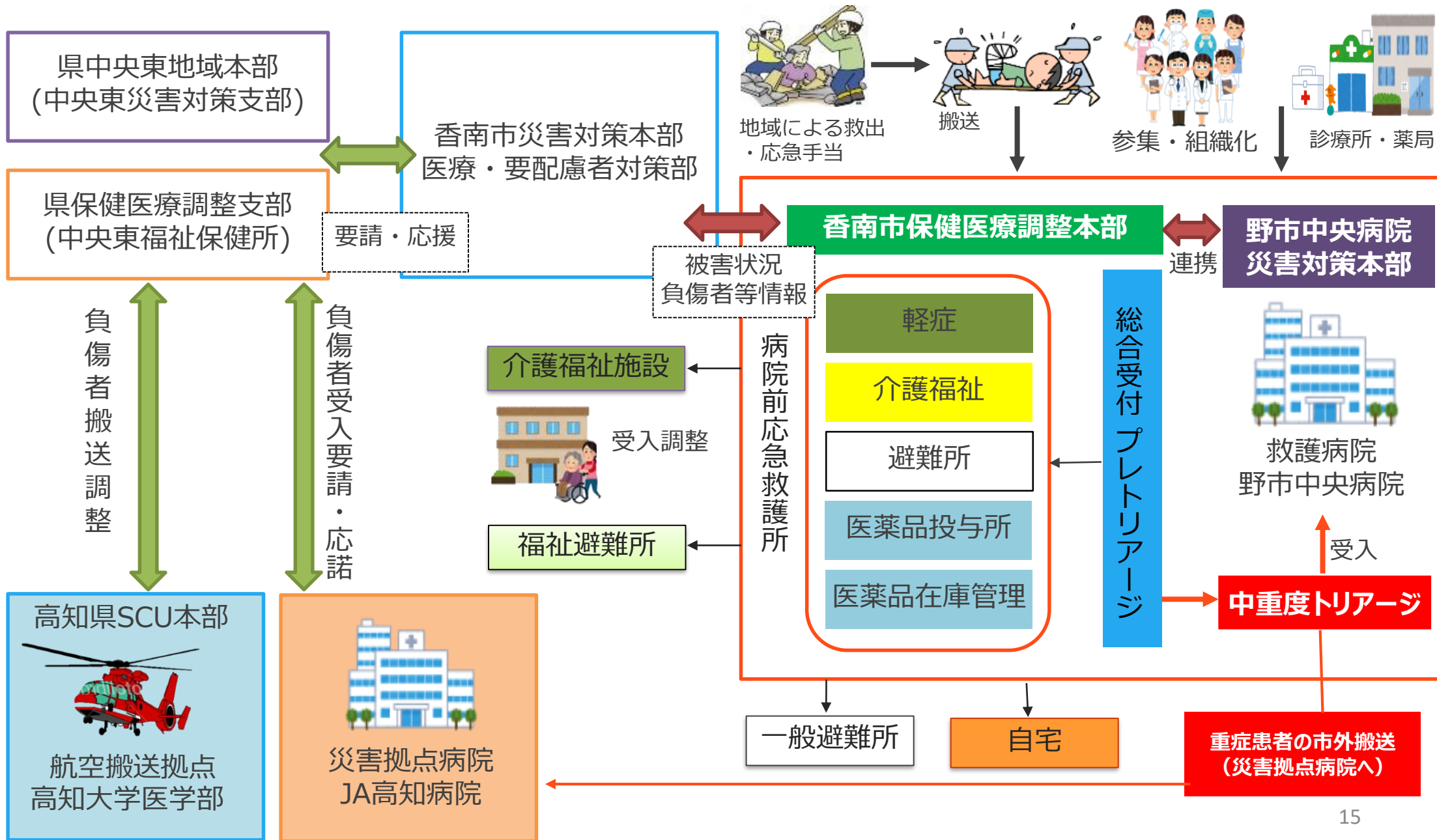
応急対策と情報伝達の流れ

災害の発生



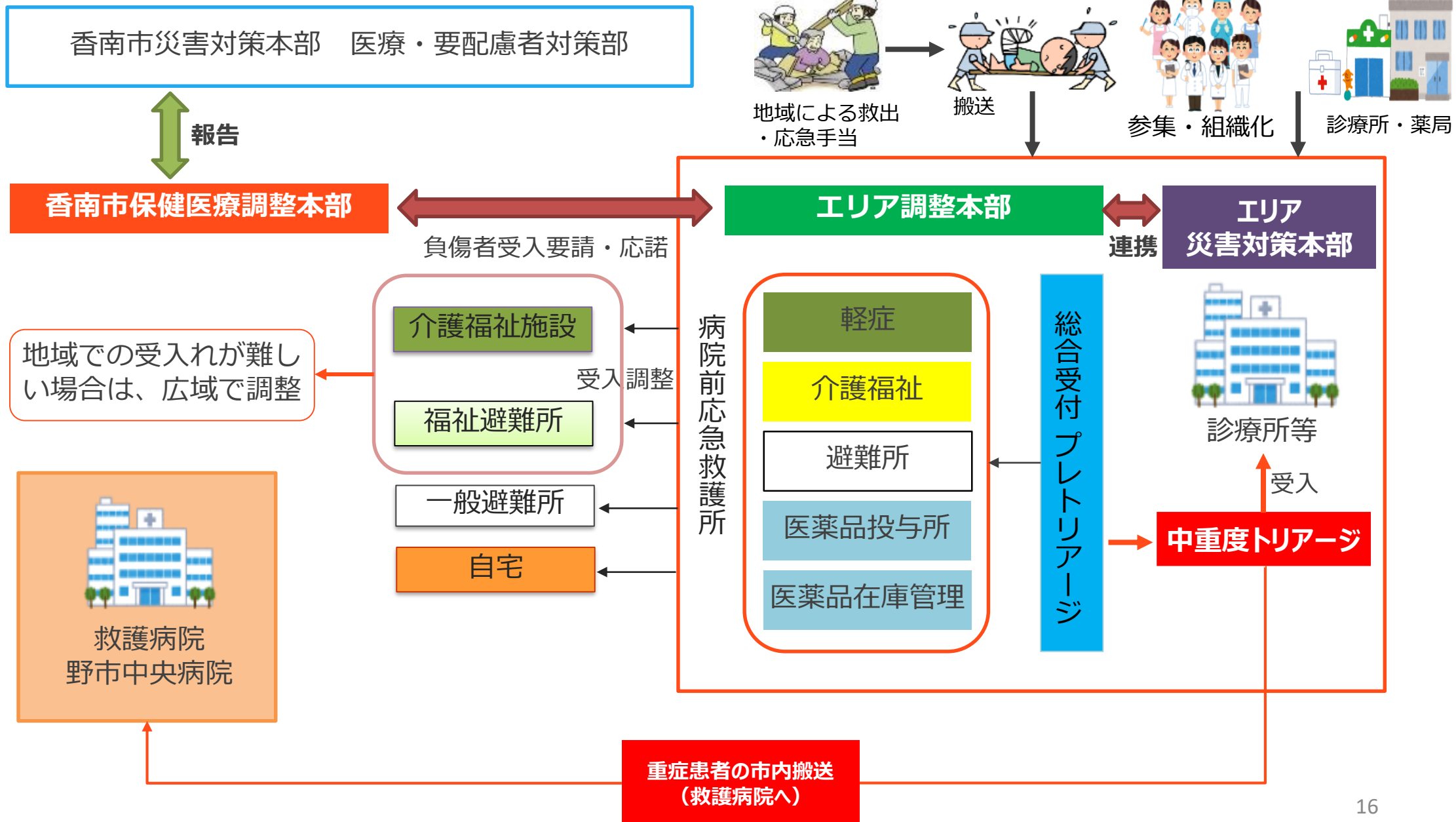
災害時医療救護体制のイメージ図

超急性期



災害時医療救護体制のイメージ図

急性期以降（各エリア）



医療救護活動の全体調整

◎香南市保健医療調整本部の設置

医療救護活動の全体調整を行うため、県保健医療調整支部と連携して保健医療班に香南市保健医療調整本部を設置し、県保健医療調整本部・支部（災害医療コーディネーターを配置）が派遣調整した県内外の医療救護チームおよび地元医療関連団体との全体調整を行う。

◎超急性期の医療救護活動の全体調整

超急性期の医療救護活動は、救護病院である野市中央病院とその前に設置する医療救護所を拠点に、野市中央病院と参集できた市内の医療従事者および県から派遣されたDMA T等の医療救護チームが実施する。

野市中央病院前医療救護所に参集できた市職員および医師等の医療従事者は現場指揮所を設置し、現場における医療救護活動の全体調整および香南市保健医療調整本部への支援要請、広域搬送等に係る連絡調整を行う。

◎急性期以降の医療救護活動の全体調整

香南市保健医療調整本部は、急性期以降の要医療者（慢性疾患患者や避難生活に起因して発生する新たな患者）に対する医療救護活動を調整するため、県保健医療調整本部・支部が派遣調整した医療救護チームを、県保健医療調整支部と連携して避難所等に設置する医療救護所や巡回診療に係る活動調整を行う。

救護体制

- 各エリアで行政・医療福祉・応急救助機関、地域、住民が総力を挙げて救護活動を行う
- 各エリアの病院と診療所・薬局・介護福祉施設による一体的な救護体制を構築する
- 救護病院等の非常用電源（燃料）・通信手段・水・医薬品・医療資器材・ベット等の確保
- 住民による孤立化対応と応急手当、救護所までの負傷者・重点継続要医療者の搬送などを検討（消防職団員が教育的立場を担う）
- 高速道路やヘリコプターを活用した患者搬送、医療物資等の搬送の検討

全エリア共通の課題

- 医療従事者の不足
- 夜間・休日発災への対応整理
- 住民（自主防災組織等）による救助
- 住民（自主防災組織等）による応急手当
- 搬送等のスキル向上
- 搬送手段の確保
（車両・燃料・運転手）
- 医療救護所等で必要な備品・医薬品・医療資材等の整備備蓄
- 非常用通信手段（デジタル・同報系）の整備と連絡体制の確保
- 受援体制の構築
- 香南市の資源（ヒト・モノ）の把握と活用方法の構築

今後の対応策

- 医療従事者の搬送・DMAT等の早期要請
- 市内在住（市外勤務含む）の医療従事者の把握・登録制度
- 消防・防災士による自主防災組織への救助・応急手当等の教育
- 搬送手段としてのデマンドバス等利用の検討
- 病院・診療所・薬局への医薬品の流通備蓄体制の整備
- 県等の通信機器の整備状況を注視し、地域の実情に見合った整備を検討
- 医療、物資、輸送機関などの人的・物的資源の実数の把握
- 関係機関との実行力のある協定への見直し
- 市民力・地域力・行政力を結集するために、関係各機関が同じテーブルで多様な視点から議論ができるような仕組みの構築

中央東地域における大規模災害時の情報伝達系統

